

8月13日[土]→17日[水]

14時開演(13日・16日は19時開演)※開場は開演の30分前となります

スペシャルゲスト=杉山葉子(フルート)

会場=横浜赤レンガ倉庫1号館3階ホール
チケット=一般前売4,200円(当日4,500円)
学生(小・中・高)前売2,700円(当日3,000円)

※全席指定 ※学生席は赤レンガ倉庫でのみ取り扱い(席数に限りがあります) ※未就学児童入場不可

◎横浜赤レンガ倉庫1号館 045(211)1515 www.yokohama-akarenga.jp
◎tvkチケットカウンター 045(663)9999 www.tvkcom.net
◎チケットぴあ(Pコード:413-503) 0570(02)9999
◎横浜読売プレイガイド 045(201)9748

主催=横浜夢座
共催=横浜赤レンガ倉庫1号館(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

助成=神奈川県 協賛=キンピール株式会社横浜支社
後援=横浜市、神奈川新聞社、tvk、RFラジオ日本、FMヨコハマ、横浜市ケーブルテレビ協議会
協力=tvkコミュニケーションズ、京浜急行電鉄、相模鉄道 制作=オフサイド

お問合せ=横浜夢座事務局 tel.045(661)0623
http://www.yokohamayumeza.com

つながる・みらいへ
横浜赤レンガ倉庫 百年
1911-2011

横兵衛

五大路子
ひとり芝居
赤い靴の娼婦の伝説

企画・出演/五大路子
作/杉山義法
演出/遠藤吉博



白塗りの娼婦は今日も街を歩いている。
…2011、その後姿は、貴方の心に何を語りかけるのか…

やり直しがきくものならもう一度あの日に。あの忌まわしい八月の暑い夜。

横浜ローザ

五大路子
ひとり芝居
赤い靴の娼婦の伝説

企画・出演／五大路子
作／杉山義法
演出／遠藤吉博

かつてひとりの娼婦がいた。彼女の名前は“ハマのメリー”。
私がメリーさんに会ったのは21年前の5月3日。
真っ白に塗られた顔、そしてリンと輝く眼光に私の胸は深く射ぬかれ、
私のメリーさん探しの旅はここから始まった。
5年間自分の足で取材し、
そして戦中派である杉山先生に執筆を依頼した。
「メリーさんの後ろにいる何十万という人々の想いをのせ、日本の戦後史を書きよ。」
そして1996年「横浜ローザ」は産声を上げました。
演じ続けて16年目。彼女はもういない。
彼女の人生を真っ二つに切り裂いた戦争。
「私ら、時代に使い捨てにされてたまるもんですか！」
メリーさんの友人の元次郎さんが呟いた言葉が頭をよぎった。
大正・昭和・平成を生き抜き、実在した一人の女性は、
今は、黙して何も語らない。
しかし、「横浜ローザ」は、
その魂は、この時代に生きた何十万という人々の想いを乗せ、
さらに新しい命となって2011年の今を、
この街を、この国を、この世界を
じっと見据えて、これからも歩き続けてゆくのだと思う。



五大 路子



五大路子 プロフィール

桐朋学園演劇科に学び、早稲田小劇場を経て新国劇へ。NHK朝のテレビ小説「いちばん星」でテレビの主演デビュー。退団後も多数のテレビや舞台に出演して現在に至る。一人芝居「横浜ローザ」で横浜文化奨励賞受賞。1999年、横浜夢座を旗揚げ。日本民間放送連盟賞受賞。2008年、横浜の地域文化振興に大きく寄与したとして、第29回松尾芸能賞「優秀賞」を受賞。2011年、長谷川伸賞受賞。映画「ヨコハマメリー」 「DEATH NOTE」出演。
著書「白い顔の伝説を求めて」

- ◎スペシャルゲスト=杉山葉子(フルート) ◎美術=川口直次 ◎照明=高山晴彦(PAC) ◎音響=森本義(ショウビズスタジオ)
- ◎床山=安信ゆかり(奥松かつら) ◎衣裳=松竹衣裳 ◎舞台監督=後藤泰徳(ニクステージワークス)
- ◎写真=森日出夫 ◎演出助手=高橋圭(KII) ◎題字=末廣博子
- ◎宣伝美術=穂積由紀夫 ◎制作助手=高嶋恵子、由愛典子、福田麻恵 ◎制作=オフサイド

1945年8月15日の正午、中学生だった僕は勤労動員先の農家の庭で天皇陛下の玉音放送を聴いた。雑音がひびく何のこともわからぬまに、放送が終わるとそのまま松根油掘りの作業場を脱出、悪友と二人で家に逃げ帰る途中だった。田圃の中の長い白い道を、日傘を差した着物姿の若い女性が一人とぼとぼとやって来る。外出時はモンペを穿くのが当時の常識なのに、着流しに素足の下駄が少年の目にも異様に映った。すれ違い様、女性は僕らを振り返って「あんた達、放送聴いた？ 日本なくなるのよ」「違うよお婆さん、あれは3連に対する宣戦布告だよ」と僕が切り返すと、女性は軍国少年二人を哀れむように「日本がなくなる、日本がなくなる」と、つぶやきながら去っていった。あのモノクロームの一枚写真のような映像が、いまだに僕の脳裏に焼きついていて離れない。あの女性はそれからどうしただろう。夫か婚約者を戦地に送っていたのだろうか。想像たくましく、あれこれ女性の戦後をたどってみると、その果てに横浜ローザがいた。五大路子さんの演ずる「横浜ローザ」は、平成7年の初演以来全国行脚を続け、既に100ステージにもなろうとしている。去年、はじめてこの赤レンガ倉庫ホールで公演して、作品が生き返ったと思った。まこと横浜ローザに赤レンガ倉庫はよく似合う。戦争の記憶は年々風化しても、横浜ローザは今も生き続けている。ローザは夏の横浜の風物詩になった。横浜市民のみなさん有難う。作者冥利に尽きる幸いです。

杉山義法(2004年8月逝去)

交通案内

- 電車 ●横浜高速鉄道みなとみらい線馬車道駅、日本大通り駅から徒歩約6分。
 - JR・市営地下鉄桜木町駅から汽車道経由で徒歩約15分。
 - JR・市営地下鉄関内駅から馬車道経由で徒歩約15分。
- 車 ●首都高速横羽線みなとみらいランプまたは横浜公園ランプ下車。
- シーバス ●横浜駅東口より「ピアホレンガ」下車。

